

令和3年度あいち医療ツーリズム推進協議会（書面開催） 委員意見及び対応

1. 議事(1) 令和3年度の医療ツーリズム推進に係る取組状況について（資料1）

番号	意見	対応
1	・外国人患者の受入れはハードルが高いと捉えられ、なかなか実施できない医療機関もあると思います。基本的な注意点をまとめたガイドラインの作成により、受入れの推進につながる可能性があるため、非常に良い取り組みだと思います。	—
2	・コロナ禍のなか、十分に取り組んでいただいていると思います。	—

2. 議事(2)「医療ツーリズム受入ガイドライン」について（資料2）

番号	意見	対応
1	・もしこのままの書式としたら、もう少し字が大きい方がよい（読みにくいです）。	・文字のポイントを大きくしました。
2	・「外国人患者」の説明があったほうがよいのでは：別添1には説明してありますが。	・「外国人患者」の説明を追加しました。
3	・国際医療コーディネーター事業者は外務省、経済産業省の登録を受けた業者と書かれていますが、実際には怪しい業者や質の不良な業者もいるように思います。承認資格や基準はあるのでしょうか。具体的に業者の選び方などが書かれているとよいのでは。	・登録時の審査について、経済産業省のホームページを参照できるようにリンクを追加するとともに、国際医療コーディネーター事業者を選択する目安として、外務省が公開している身元保証機関のリストのリンクを追加しました。
4	・国際医療コーディネーター事業者に依頼する時に契約書が必要でしょうか。医療機関は何らかの契約書を取りたいと思うように思いますので、その説明を書いてはどうでしょうか。もし契約書を取ったほうが良ければ、内容のポイントなど。	・国際医療コーディネーター事業者との契約は、契約書に明記することが望ましいことを紹介するとともに、契約書に盛り込むべき主な事項を紹介するページを追加しました。
5	・トラブルシューティングあるいはトラブル時のQ&Aがあるとよいと思います。特に、医療には事故や場合によっては医療過誤があり得ます。その場合には、補償や法的な問題はどうか、など。	・医療ツーリズム受入ガイドライン事業については、令和3年度を基礎編とし、令和4年度は発展的な内容とすることを検討しています。トラブルシューティングやトラブル時のQ&Aにつきましては、令和4年度版に掲載できるよう検討してまいります。
6	・受け入れから医療提供までのフローチャートや必要事項のチェックリストがあるとよいと思います。	・外国人患者受入れの3つのステップと主な業務という項目を設けるとともに、院内の受入れ担当医、医療スタッフ、事務スタッフの業務チェックリスト例を設けました。
7	・全国で先行実施、成功している施設の例示をガイドラインに適宜入れ込むとより実感がわくのではないかと考えます。	・次年度の受入ガイドラインを作成する際には、いただいたご意見を踏まえた内容とするよう検討してまいります。
8	国際医療コーディネーター事業者 ・愛知県内の国際医療コーディネーター事業者一覧を別紙で用意 ・事業者になるための審査は	・登録時の審査について、経済産業省のホームページを参照できるようにリンクを追加するとともに、国際医療コーディネーター事業者を選択する目安として、外務省が公開している身元保証機関のリストのリンクを追加しました。

3. 議事(3)令和4年度の医療ツーリズム推進に係る取組予定について(資料3)

番号	意見	対応
1	・ガイドラインの策定について、受入れ時の注意点として、外国でよくある感染症検査スクリーニング等の「感染症対策への取組み」の追加を検討されてはいかがでしょうか。	・次年度の受入ガイドラインを作成する際には、いただいたご意見を踏まえた内容とするよう検討してまいります。
2	・医療コーディネーター事業者・医療通訳者紹介窓口など中小の医療機関では雇用したり育てたり出来ないところでも始められる様にして環境が整うと良いかと思えます	・次年度の受入ガイドラインを作成する際には、いただいたご意見を踏まえ、中小の医療機関でも医療ツーリズムに興味を抱き、始められるような内容を盛り込むよう検討してまいります。

4. その他

番号	意見	対応
3	<p>・中部国際空港の国際線運航状況は2019年(ピーク時)には42都市への週486便が運航しておりましたが、コロナ禍の2022年2月時点では、7都市(※)週16便となっております。</p> <p>※ソウル、台北、マニラ、シンガポール、バンコク、ハノイ、デトロイト 引き続き中部地域の空の玄関口として利便性を高め、役割を果たせるよう、空路線の早期回復及び空港での交通アクセスを含めた受入れ環境の整備に努めてまいります。</p>	—